

令和3年度 共同生活援助（ホームにじ）事業報告

1. 利用者支援の状況

(1) 入居者の状況

定員 22名 令和4年3月31日現在 在籍 21名（男性15名、女性6名）

	性別	年齢	障害支援区分	実施機関	住居	日中活動
1	男性	51	5	松原市	ホームにじ	高井田苑すてっぷ
2	女性	43	3	柏原市	ホームにじ	高井田苑
3	女性	50	6	八尾市	ホームにじ	高井田苑
4	男性	54	4	柏原市	ホームそら	高井田苑すてっぷ
5	男性	30	5	八尾市	ホームそら	高井田苑すてっぷ
6	女性	40	4	柏原市	ホームそら	高井田苑すてっぷ
7	女性	56	5	八尾市	ホームそら	高井田苑すてっぷ
8	男性	35	3	柏原市	ホームはれ	夢工房くるみ
9	男性	64	4	柏原市	ホームはれ	高井田苑
10	女性	34	4	柏原市	ホームはれ	風の森
11	女性	31	3	交野市	ホームはれ	高井田苑
12	男性	51	4	柏原市	ひなた	高井田苑すてっぷ
13	男性	41	5	柏原市	ひなた	高井田苑
14	男性	46	4	柏原市	ひなた	高井田苑すてっぷ
15	男性	49	5	堺市	ひなた	高井田苑
16	男性	44	6	八尾市	ひなた	高井田苑
17	男性	48	4	柏原市	ひなた2	高井田苑
18	男性	51	5	寝屋川市	ひなた2	高井田苑すてっぷ
19	男性	35	5	柏原市	ひなた2	高井田苑
20	男性	51	5	東大阪市	ひなた2	高井田苑
21	男性	48	5	柏原市	ひなた2	高井田苑
22						

(2) 健康管理

看護職員中心に、地域の医療機関と連携を取りながら健康管理に努めた。看護職員が定期的に各住居を巡回することで、利用者の体調を確認し、普段の様子も把握も行う。

高井田苑の生活介護サービスを利用している利用者は高井田苑の他利用者とともに定期健康診断は年2回実施した。11月にインフルエンザの予防接種を行った。

他法人の日中サービスを利用している利用者はそれぞれの事業所の健康診断とインフルエンザの予防接種を行っている。

毎月1回体重測定を実施している。

新型コロナウイルスの対策として利用者、職員の検温を行い、玄関に消毒液を置いて帰宅後に消毒する等の予防に努める。外出時のマスク着用を徹底する。

令和3年8月に世話人2名が新型コロナウイルス感染する。令和4年2月に世話人1名が感染し利用者1名にうつる。藤井寺保健所の指示の下で感染利用者1名を隔離対応し、濃厚接触者に該当した3名の利用者も自宅待機の対応をとり感染拡大を防ぐ。

感染した1名以外は新型コロナウイルスワクチンの3回目接種を終えている。

(3) 栄養管理

夕食とはタイハイ株式会社のBコースメニューを利用して食材を仕入れ、栄養計算された食事を提供している。

朝食は生活支援員が中心に、買い物や大阪いずみ市民生活協同組合を活用して食材の調整を行う。

休日の昼食メニューを利用者や職員の意見を聞いて献立を考える等、利用者が希望するメニューの提供に取り組んでいる。

(4) 安全管理

各ホームには消防署への火災通報設備を設置、避難誘導灯、消火器を設置している。

ひなたはスプリンクラーも設置している。

11月にフジタカ防災設備に依頼し各住居の消防設備点検を行った。

年2回、火災を想定した避難訓練を実施した。

2. 職員体制

(1) 職員数

職名	管理者	サービス 管理責任者	生活 支援員	世話人	看護師	事務員	合計
常勤	1(兼務)	1	2		1	(兼務)	5
非常勤			1	24	1		26

(2) 会議の運営

今年度も密を避ける為、定期的に行っていた会議を中止して、感染拡大状況を見ながら会議を開催したり、アンケート形式で各職員と意見交換し情報や支援隊方法の共有を行った。

(3) 研修

高井田苑の人権研修に世話人が参加する。

防災研修として防災マニュアルを職員間で回覧する。

サービス管理責任者が大阪府相談支援従事者初任者研修を受講し修了証を得る。

生活支援員1名が大阪府相談支援従事者初任者研修と大阪府サービス管理責任者等基礎研修を受講してそれぞれの修了証を得ている。

3. 余暇支援

(1) 移動支援・行動援護サービスの利用

ほぼ全員の利用者がさんぽーとを中心に移動支援・行動援護を活用できた。

新型コロナウイルスの影響で繁華街や密になる環境を避け、社会の状況と利用者の希望やニーズに合わせた計画を立てる。

(2) 利用者全体で集まるイベントを控え、職員体制に合わせて、デリバリーやドライブスルー等を利用して各住居で普段と違う食事を楽しんだ。

4. 短期入所事業

柏原市在住の方 2 名が、定期的に利用している。